

# まちの話題

6月13日[Tue]

## 映画監督の堤幸彦氏が表敬訪問



▲(左から)横尾市長、堤氏、宮崎氏、石田俊二教育長

映画監督の堤幸彦氏が横尾俊彦市長を表敬訪問されました。堤氏は、人気テレビドラマ「TRICK」や映画「20世紀少年（3部作）」など数々の作品を手掛け、現在も幅広くご活躍されています。

旧石器時代の多久の石器に興味を持たれたことがきっかけで、ご親戚の宮崎昭史氏の紹介により来訪され、多久聖廟や郷土資料館、京町商店街のウォールアートを散策されました。

堤氏は「多久聖廟や多久で産出されたサヌカイト、ウォールアートを取り入れた商店街など、多久の人々はまちの幸を大事にしているのだと感銘を受けました。今後も多久の魅力を大切にしていくことで新たな希望が見えてくるのではないかと感じています」と話されました。

6月24日[Sat]

## 青少年育成市民大会 & 少年の主張発表会



▲表彰を受ける陣内さん(右)

▲6年生10人、9年生6人が発表しました

「多久市青少年育成市民大会」と「多久市少年の主張発表会」（主催：多久市青少年育成市民会議・多久ライオンズクラブ）が中央公民館で開催されました。

多久市青少年育成市民大会では、地域における防災活動を長年続けてきた陣内成和さん（多久町）を表彰。その後の多久市少年の主張発表会では、ふるさと多久や世界情勢、健康や未来のことなどをテーマに16人がそれぞれ発表しました。

発表を終えた宗田瑞蒼来さん（東部校9年）は「先生から勧められて出場を決めました。すごく緊張しましたが、いい経験になったので出てよかったです」と笑顔を輝かせました。

7月6日[Thu]

## 株式会社バイオテックスに寄附感謝状贈呈

※国が認定した地方公共団体の地方創生の取り組みに対し、企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除を受けられる制度



▲横尾市長(左)から感謝状を受け取る原田代表取締役(右)

企業版ふるさと納税制度<sup>\*</sup>を活用し多久市に寄附をされた株式会社バイオテックス（本社：佐賀市）の原田烈代表取締役(はらだれつ)に感謝状を贈呈しました。

原田代表取締役は「来年の国民スポーツ大会に向けて、多久市がもっと盛り上がるようにという思いで寄附させていただきました。今後もできる限り継続して貢献したいと思えます」と話されました。

横尾俊彦市長は「この度は多額のご寄附をいただき大変ありがとうございました。御社のような心ある企業のみならずや自治体と一緒に、若い世代を応援してよりよいまちづくり、そして社会が向上していくようにしっかりと力を尽くしていきます」と感謝の言葉を述べました。

